

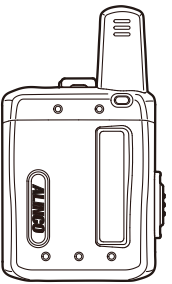
ALINCO

PS1175
FNFI-NL

特定小電力トランシーバー
(総務省技術基準適合品)

DJ-PX7
Gシリーズ
簡易取扱説明書

詳細取扱説明書



重要 本機は別売のイヤホンと充電器が必要となります。ご使用になるときは背面のゴムキャップを取外し、10番スイッチをオンにします。

アルインコの製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本機は免許、資格不要の特定小電力無線機器です。日本国内なら誰でも用途を問わず、お使いいただけます。使用方法のほか安全上の注意やアフターサービスについても記載していますので、この取扱説明書は必ず最後までお読みのうえ、保証書など付属書類とあわせて保管してください。また本機の機能の設定をされる管理者の方は詳細取扱説明書もあわせてお読みください。上の二次元コードからアクセスできます。

This product is intended for use only in Japan.

アルインコ株式会社 電子事業部

〒541-0043 大阪市中央区高麗橋4丁目4番9号 淀屋橋ダイヤビル 13F TEL06-7636-2361

無線・電源 機器のアフターサービスに関するお問い合わせは

お買い上げの販売店またはフリーダイヤル ☎ 0120-464-007

全国どこからでも無料でお客様のご相談窓口につながります。

受付時間：月曜～金曜 AM10～12 / PM 1～5 (土日祝日と休業日を除く)

お問い合わせフォーム：「アルインコ 電子 お問い合わせ」で検索してください

Copyright Alinco, Inc. Printed in Japan

使用上のご注意

■ ご使用環境・条件……………

- 本機を人命救助などの目的で使用して、万一、故障、誤動作などが原因で人命が失われることがあっても、製造元及び販売元はその責任を負うものではありません。
- 航空機内、空港敷地内、公共交通機関内、医療・高齢者施設など無線機器の使用が制限される場所では事前に管理者の許可を得てください。
- 直射日光の当たる場所や空調機、火の近くなど、温度が高くなる場所には置かないでください。破裂、火災、故障、やけどの原因になります。真冬でも閉め切った車内や窓際では、日光が当たると本機の表面は電池の破裂につながる温度まで上昇します。
- 雷が鳴りだしたら屋外での使用時は直ちに屋内、車内など安全な場所に避難し、充電器をご使用の場合はACアダプターをACコンセントから抜いてください。火災、感電、故障の原因となります。
- 運転中に本機を手にとって操作しないでください。運転中の携帯電話使用と同様に罰せられます。
- 付属品及び弊社指定のオプション品以外のものを接続して使用しないでください。故障の原因になります。
- 本機の定格温度は必ず守ってご使用ください。定格外の温度範囲で使用した場合、火災、発熱、故障の原因になります。
- ベットや小さいお子様の手が届かない場所で使用、保管してください。感電やけがの原因になります。
- 電化製品の近くで使うと電波障害を与えたり受けたりすることがあります。原因となる機器から離れてお使いください。

■ 電波法上のご注意……………

- 本機は電波法に基づく技術適合証明(工事設計認証)を受けた製品です。分解したり改造したりすると罰せられます。「技適マーク」は製品内部に印字しています。
- 本機に貼付されたラベル類は重要です。次のことにご注意ください。
 - 機種名、数字が書かれたラベル類は一切絶対に剥がしたり、他のシールなどで隠したり、張り替えたりしないでください。
 - ラベル類が隠れるように他のシールやステッカーが貼り付けられていたら、修理の際に弊社サービスセンターで破棄させていただきます。ラベル類の印字が薄れてきたらお買い上げいただいた販売店が弊社サービスセンターにご相談ください。
 - ラベル類が意図的に手を加えてあると判断した場合、修理をお断りすることがございます。不法無線局開設の補助に該当するためですのでご了承ください。

- 他人の通信を妨害したり、知りえた内容を通信者の許可なく第三者に伝えたり、自身で利用したり、メディアに公表したりすると罰せられます。
- 使用できるのは日本国内に限られています。
- 心臓ペースメーカーを使用している人の近くで本機を使用しないでください。電磁妨害により機器が誤作動すると、人命に関わります。

■ トランシーバー本体の取扱いについて……………

- 本機は調整済みです。ユーザーが改造、仕様変更することは法律で禁止されています。
- 引火性ガスが発生する場所では使用しないでください。爆発、火災、感電、故障の原因となります。本機は防爆仕様ではありません。
- 水などでぬれやすい場所では使用しないでください。火災、感電、故障の原因となります。本機は防水仕様ではありません。

- 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本体の主電源（10番スイッチ）をオフにして、充電スタンドをご使用の場合はACアダプターをACコンセントから抜いてください。
- 大きい音で長時間使用しないでください。耳に聴覚障害を与える原因になります。
- 本機を落としたり、壁に当てたりしないでください。無理な力が加わり破損し発火、発熱、故障の原因になります。
- スポンなどのポケットに入れたまま椅子などに座らないでください。無理な力が加わり、けが、故障の原因になります。
- 内部から漏れた液が皮膚や衣服に付着したときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚に障害を起こす原因になります。

■ 充電スタンドの取扱いについて……………

- 充電スタンドに水を取ったり、ぬらしたりしないでください。火災、発熱、感電、故障の原因となります。
- 指定以外の電圧で使用しないでください。火災、感電、故障の原因になります。
- 定格外の温度範囲で使用しないでください。火災、発熱、故障の原因になります。
- 充電スタンドの近くに可燃物を置かないでください。火災、故障の原因になります。

■ 通信距離の目安（ラベルトーク同士、中継なし）……………

通信できる距離は周囲の状況や取付け方によって大きく異なります。

- 河原など障害物のない平地、見通しの良い道：200m程度
- 市街地や住宅街など障害物が多いところ：50～100m程度
- 店舗などの建屋内：30～50m程度

■ 注意……………

- ・ 建物内の縦階層間の通信はフロアが障害物になるため、直進では数十メートルの近距離であっても通信できないことがあります。このような場合は中継器を設置することで通話エリアを広げることができます。
- ・ 人体を含む障害物やアンテナの向き、歩くなど移動による影響を受けると、通信距離は半分程度まで短くなることがあります。
- ・ トンネルのような閉鎖空間ではUHF電波伝播の特性により近距離でも通信できないことがあります。

■ 保守・点検……………

- 本体や充電器のケースは開けないでください。けが、感電、故障の原因となります。分解しないと交換できない部品は販売できません。内部の点検、修理はお買い上げの販売店または弊社サービスセンターにご依頼ください。
- 汚れた場合は柔らかいきれいな布で乾拭きしてください。パソコンやデジカメのようなAV機器を清掃するために市販されているクリーニング用具が最適です。
- ペンジン、シンナー、洗剤などの溶剤を使うと外装が変質したり、ショートを誘発して故障の原因となるため絶対に使わないでください。
- イヤホンなどのケーブルは、軽く湿らせた布で拭いてください。汗はケーブルを劣化させる原因になります。

■ 電磁ノイズ……………

インバーター回路を内蔵している電子機器及びハイブリッドカー、電気自動車の中や周辺では電磁ノイズを受けて、正常に動作しないことがあります。

- インバーターを搭載する代表的な機器
- LED照明機器 ● 電磁調理器 ● 給湯器 ● 自動車の電子機器
- 太陽光発電装置

特定小電力の通信制限について

特定小電力トランシーバーの通信に関する制限事項について説明します。

■ 3分制限(3分以上は連続で送信できません)……………

10秒前に警告音が鳴ります。通信時間が合計3分になると自動的に送信は停止します。チャンネルを独占させない機能です。

注意 3分の通信時間制限により自動的に通信が停止したあとは、約2秒間たたないと送信できません。

■ キャリアセス(受信中は送信できません)……………

一定の強さ以上の信号を受信しているときはPTTキーを押しても送信できません。受信中にPTTキーを押すとアラーム音が鳴り、送信できないことをお知らせします。混信や妨害を与えないための機能です。

注意 「ピープ音＋音声ガイダンス」をオフに設定している場合、アラーム音は鳴りません。

アフターサービスについて

○ 保証と保証書

修理やメンテナンスなど、保証の詳細は販売店とお客様の間の契約が優先されますのでご購入時によくご確認ください。弊社の製品保証の内容は弊社発行の保証書に記載されています。保証書には購入店名、購入日の記入（または専用ステッカー貼付けなど）、記載の製造番号に間違いがないかを正確かつのうえ、本書と一緒に大切に保管してください。記載がないときは販売店発行のレシート、納品書など購入店と購入日が証明できる書類と一緒に保存してください。購入店と購入日が証明できない場合は製品保証が無効となりますのでご注意ください。

○ 保証期間が過ぎたら

お買い上げいただいた販売店または弊社相談窓口へご相談ください。修理によって機能が維持できる場合には、お客様のご要望により有償で修理いたします。アフターサービスや製品に関するよくあるご質問は「アルインコ 電子FAQ」をキーワードにネット検索してください。ご不明な点がありましたら、お買い上げいただいた販売店または弊社相談窓口へご相談ください。

○ 製造終了製品に対する保守年限に関して

弊社では製造終了後も下記の期間、製品をお使い頂けるように最低限必要な補修用部品を常備しています。ただし、不測・不可抗力の事態により在庫部品に異常が発生したような場合はアフターサービスをご提供できなくなることもありますので、あらかじめご了承ください。

補修用部品の保有期間は、生産終了後5年です。

○ 注意事項

- 改造、分解されたり銘板やラベル類が剥がされた製品は、技適上の理由から修理をお断りします。
- 修理見積や保険用の証明書の発行は、一部有償です。
- 本機には明確に定められた製品寿命はありません。
- 樹脂成型時に細いラインが入ることがありますが、異常ではありません。
- 印字について美観上の問題がない範囲でわずかなムラがあります。
- 使用条件によって端子部が変色することがありますが、異常ではありません。
- 静電気が溜まりやすい場所や服装で別売のイヤホンを着装するとき、耳に静電気ショックを感じる場合があります。ドアノブなどに触れて感じることもあるショックと同じで、漏電のような異常ではありません。
- 付属品、および弊社指定のオプション品以外のアクセサリを接続して使用すると故障や動作不良の原因となることがあります。他社製品をお使いになったの不具合は保証期間に関わらず製品保証の対象外です。
- 本機を何らかのシステムや電子機器の一部として組み込んで使用しないでください。事前の個別契約がない限り、誤作動、不具合や損害が生じても一切の責任は負いかねます。
- 製品の保証の詳細は同梱の保証書に記載されています。別売のアクセサリと一緒に求めになっても、保証書が同梱されていないアクセサリは製品保証の対象に含まれません。

付属品と取付け方

付属品をご確認ください。

- ☐ クリップ＋ネジ 1 本(本体装着済み) ☐ ストラップホルダー
- ☐ 簡易取扱説明書 1 枚(本紙) ☐ 保証書

注意 保証書にご購入の日付が記載されていないときは領収書やレシートを保証書と一緒に保管してください。ご購入日が証明できる書類がないと保証サービスは無効となりますのでご注意ください。

■ クリップの付け替え……………

本製品のクリップは装着済みですが、使用する向きに応じて付け替えることができます。ネジを取外し、クリップを逆向きに取付けてください。付属品以外のネジを使うと無線機本体が破損します。規格以外のネジは使用しないでください。

ストラップホルダー

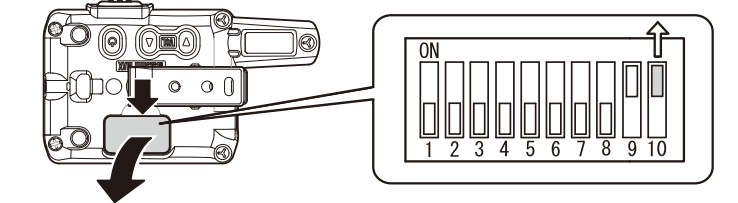
市販のストラップをお使いになる際は、クリップを取外し、ストラップホルダーに付け替えてください。ストラップを突起物に引っかけたり、シュレッターのような機器に巻き込まれないよう注意してください。けがの原因となります。

メモ 本製品はアンテナを上に向けて装着するのが基本です。マイクが2個搭載されており、上下逆に装着する際は9番スイッチを切り替えて使用するマイクを選択します。

注意 定期的にクリップのネジにゆるみがないか点検してください。クリップは消耗品です。オプション（EBC-48）として販売しています。お買い求めの際は販売店にご相談ください。

お使いになる前に（内蔵バッテリーについて）

本製品にはリチウムイオンバッテリーが内蔵されていますが、出荷時には十分に充電されていません。ご使用になる前に主電源（10番スイッチ）を入れ、別売オプションの充電器で満充電してください。スイッチの切り替えには先端が鋭利ではないものをお使いください。設定完了後はゴムキャップを元どりに取付けてください。



注意 ・ 本製品をしばらくご使用にならないときは安全のためや、リチウムイオンバッテリーの劣化防止のため主電源（10番スイッチ）をオフにしてください。

・ 長期間保管される場合は内蔵バッテリー劣化防止のため、放電させてから1時間ほど充電してください。リチウムイオンバッテリーは50%程度の充電状態が保存には最適です。主電源（10番スイッチ）はオフにしてください。

・ リチウムイオンバッテリーは正しく使っていても経年劣化し、古くなると発熱発火のリスクが高くなります。3年程度を目安、長くても5年以内に販売店または弊社サービスセンターに内蔵バッテリーの交換をご依頼ください。

充電器（別売）

充電器及び関連製品は下記の通りです。

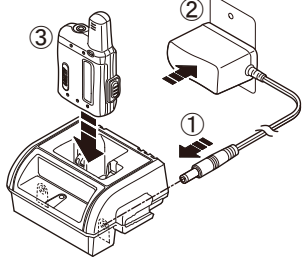
- ☐ シングル充電器セット：EDC-207A（ACアダプター付属）
- ☐ 連結充電スタンド：EDC-207R（連結ケーブル付属）
- ☐ 5連充電スタンド：EDC-208R
- ☐ 連結用ACアダプター：EDC-162（EDC-208R専用）

空の内蔵バッテリーを満充電するのに要する時間は約3時間、充電器の動作温度範囲は0～+40℃です（全充電器共通）。継ぎ足し充電も可能です。

注意 充電するときは電源キーで本製品の電源を切ってください。電源を入れたままだと満充電にならないことがあります。

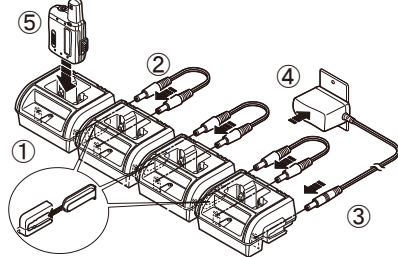
■ シングル充電器セット（EDC-207A）の使用方法……………

- ① ACアダプターのプラグを充電スタンド裏面にある、いずれかのジャックへ接続します。
- ② ACアダプターを家庭用コンセントAC100Vへ接続します。充電が開始すると赤色ランプが点灯します。
- ③ 本製品を充電スタンドのポケットへ挿入します。
- ④ 充電が完了すると緑色ランプが点灯します。



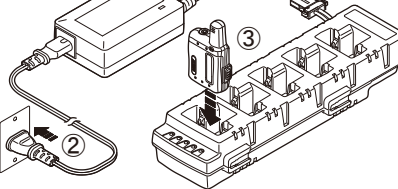
■ 連結充電スタンド（EDC-207R）の使用方法……………

- シングル充電器に連結充電スタンドを3台まで接続し、最大で4台のトランシーバーを同時に充電できます。
- ① 充電スタンド同士を連結します。
 - ② 充電スタンド裏面のジャックに連結ケーブルを接続します。
 - ③ ACアダプターのプラグを端の充電スタンド裏面のジャックへ接続します。
 - ④ ACアダプターを家庭用コンセントAC100Vへ接続します。
 - ⑤ 本製品を充電スタンドのポケットへ挿入します。充電が開始すると赤色ランプが点灯します。
 - ⑥ 充電が完了すると緑色ランプが点灯します。



■ 5連充電スタンド（EDC-208R）の使用方法……………

- 1台の充電器で最大5台のトランシーバーを同時に充電できます。
- ① 充電スタンドと連結用ACアダプター（EDC-162）のコネクターを接続します。
 - ② 連結用ACアダプターを家庭用コンセントAC100Vへ接続します。
 - ③ 本製品を充電スタンドのポケットへ挿入します。充電が開始すると赤色ランプが点灯します。
 - ④ 充電が完了すると緑色ランプが点灯します。



※5連充電スタンドを2台接続し、最大で10台のトランシーバーを同時に充電できます。5連充電スタンドの連結使用方法については、詳細取扱説明書をご確認ください。

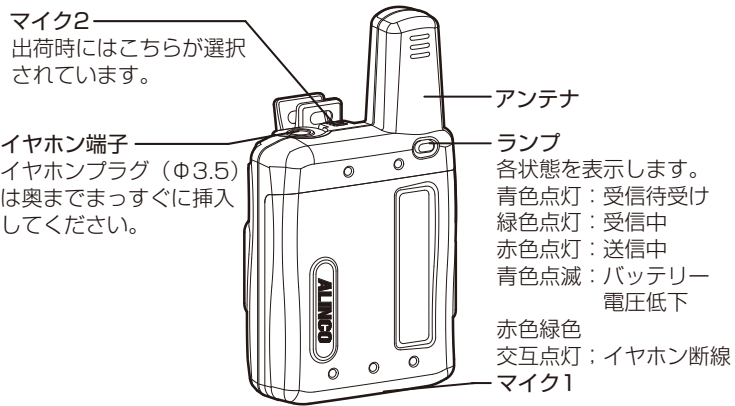
注意

- ・本製品及び充電器の充電端子はときどき乾いた布で掃除してください。汚れていると接触不良の原因となります。
- ・本製品をいずれかのポケットに挿入すると赤色ランプが点灯するが、別のポケットに挿入すると緑色ランプが点灯する、またはその逆の動作をすることがあります。充電開始・完了を決定する回路の個体差により、このような動作をすることがありますが異常ではありません。
- ・主電源を入れていない状態で充電器に挿入すると赤色・緑色ランプが点滅することがありますが、一時的に微小な電流が流れるためであり異常ではありません。充電する際は、主電源が入っていることを確認してください。

各部の名前とはたらき

前面

本製品には上下に2個のマイクを搭載しています。お使いになる向きに応じて9番スイッチを切り替えてください。

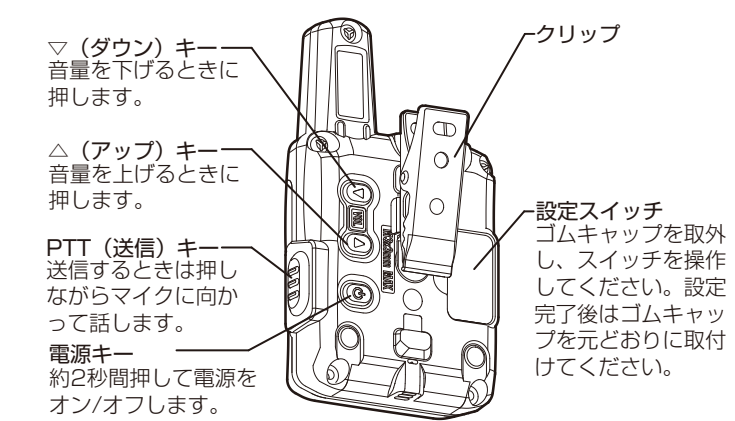


注意

- ・マイク穴にシール類を貼り付けしないでください。送信する際の音声を拾わなくなります。
- ・イヤホンのケーブルに無理な力が加わって断線しないよう、取扱いはご注意ください。
- ・ランプの色は部品の個体差から異なって見えることがあります。異常ではありません。

背面

設定スイッチ
出荷時は9番以外スイッチがオフになっています。ご使用になる際は、主電源（10番スイッチ）をオンに切り替えてください。



項目	初期値	設定スイッチ
1	交互通話/中継通話	交互通話
2	グループトーク	オフ
3	PTTホールド（送信保持）	オフ
4	VOX（音声検知送信）	オフ
5	ピープ音+音声ガイダンス	オン
6	コンバンダー（雑音低減）	オフ
7	エンドビー（送信終了音）	オフ
8	コールバック（音声モニター）	オフ
9	マイク選択	マイク2
10	主電源	オフ

※各機能説明は詳細取扱説明書をご確認ください。

チャンネルとグループ番号の自動設定（ACSHモード）

既に使用しているトランシーバーのチャンネルとグループ番号をスキャンして検出し、本製品に同じものを自動設定する機能です。キー操作によるチャンネルとグループ番号の設定作業が省略できます。本製品は交互通話及び中継通話においてご使用いただけます。複数台を同時に設定することができます。

●設定方法

- ① ACSHモードで自動設定するトランシーバー（本製品）と、既にご使用中の設定元（設定済み）トランシーバーを準備します。設定元トランシーバーはあらかじめ電源を入れておきます。
- ② 本製品の電源を切った状態で「アクシュモードです」と鳴るまで電源キーを押し続けます。（約7秒間）
- ③ 「設定元となるトランシーバーを送信してください」と鳴り電波の検出を開始します。既にご使用中の設定元トランシーバーを送信状態にします。このまましばらくお待ちください。数秒から最長で2分程度要することがあります。
- ④ 電波を検知すると「ピピ」音が鳴りランプが青色点滅します。
- ⑤ 自動設定が完了すると「自動設定が完了しました」と鳴りランプが緑色点滅します。
- ⑥ お知らせ後「ププ」音が鳴り自動的に電源が切れます。電源キーを長押しして電源を入れ直し、正しく通話できることを確認してください。

基本操作

本書では基本的な設定操作のみを記載しています。詳しいカスタマイズ方法は詳細取扱説明書をご確認ください。

●音声ガイダンス

本製品はチャンネルやグループなどの設定内容、及び各状態を音声ガイダンスでお知らせします。本書では音声ガイダンスが動作することを「鳴ります」と表記しています。

●キー操作

「キーを押す」とは、短く押すことを指します。
「キーを長押し」とは、約2秒間押し続けることを指します。

●主電源を入れる

ゴムキャップを外し10番スイッチをオンにします。

●電源を入れる

電源キーを長押しします。ランプが青色点灯し、チャンネルとグループが鳴ります。電源を切るときも同じ操作で「ププ」音が鳴り消灯します。

メモ 電源が入っているときに電源キーを押すと、チャンネルとグループが鳴り、設定内容を確認できます。

●イヤホン断線検知

電源を入れた直後にランプが赤色と緑色に交互点滅していたらイヤホンが断線しています。プラグが緩んでいないか接続状態を確認し、故障していたら新しいものにお取替えください。

●音量を調整する

▽/△キーを押すと「ピッ」という音が鳴り音量が切り替わります。キーを押し続けると連続して音量が切り替わります。▽/△キーを同時に押して話すと「ザー」というノイズが鳴り音量調節の目安となります。適切な音量に調整してください。

注意

- ・イヤホンを使用するときはあらかじめ音量を下げてください。音量を大きくし過ぎると聴力障害の原因となるおそれがありますので、小さい音から徐々にあげて調整してください。

●送信する

PTTキーを押すと送信を開始します。話している間は押し続け、話し終わったら離して受信待受けに戻ります。送信中はランプが赤色点灯します。

注意

- ・一定の強さ以上の信号を受信しているときはキャリアセンスがはたらき、「プププ」と警告音が鳴り送信できません。受信信号がなくなり、ランプが緑色から青色に変わったら送信できます。5番スイッチがオンの場合は警告音は鳴りません。

メモ 中継通話も同様にPTTキーを押し続けます。「ピピ」音が鳴って中継器にアクセスします。そのままPTTキーを押しながらマイクに向かって話します。（別途中継器が必要です）

●呼出音（コールトーン）

送信中に△/マキーを押すと呼出音（コールトーン）が送出され、相手を呼び出すことができます。5番スイッチがオンの場合は呼出音は鳴りません。

●受信する

電波を受信するとランプが緑色点灯し、イヤホンから相手の声が聞こえます。

メモ 本製品にはテールノイズキャンセラー機能が搭載されています。受信終了時の「ザッ」というノイズが低減されています。本機能を搭載した弊社機器間の通話においてのみ有効です。

●チャンネル設定

交互通話20チャンネル、中継通話27チャンネルの中から使用するチャンネルを選択できます。交互または中継であるかは、1番スイッチの設定で選択できます。（中継通話の際は別途中継器が必要です）
△キーを押しながら電源を入れます。ランプが点灯し「チャンネルを選択してください」が鳴ったら▽/△キーを押してチャンネルを選択します。設定したいチャンネル番号が鳴ったらそのまま5秒間放置するか、PTTキーを押して確定します。

メモ 1番スイッチをオフで初期化したときは、交互チャンネルL01になります。1番スイッチをオンで初期化したときは、中継チャンネルL10になります。

●グループトーク機能

同じグループの人とだけ通話したいときはグループトーク機能を設定します。同じグループのトランシーバーはすべて同じグループ番号に設定してください。グループ番号は50通りの中から一つを選択してください。

●グループ番号の設定

2番スイッチをオンにしてマキーを押しながら電源を入れます。ランプが点灯し「グループを選択してください」が鳴ったら▽/△キーを押してグループを選択します。設定したいグループ番号が鳴ったらそのまま5秒間放置するか、PTTキーを押して確定します。

メモ グループトークをオンした際の初期値は1番に設定されており一般的によく使用されます。混信を避けるために1番以外の設定をお勧めします。

●減電池お知らせ

バッテリーの電圧が低下するとランプが青色点滅してお知らせします。さらに低下すると点滅周期が速くなるとともに「充電してください」が定期的に鳴ります。本製品の電源を切り充電器に挿入して充電してください。

●リセット（初期化）

電源を切った状態で電源と△とPTTキーを5秒間押し続けます。途中でランプが点灯しますが、そのまま押し続けると交互点滅に代わり「初期化しました」と鳴ります。すべての設定内容は初期化され工場出荷状態に戻ります。

●拡張機能

各機能説明は詳細取扱説明書をご確認ください。

連結中継モード

本製品は中継器を複数台使って通話エリアを拡大する連結中継の子機として使用できます。中継器は連結中継モード対応の製品（DJ-P113Rなど）をお使いください。最大4台の中継器を無線連結させて通話距離を大きく伸ばすことができます。

注意

- ・連結中継は、一般的な中継対応トランシーバーでは設定も通話もできません。
- ・設置に関する説明は中継器の取扱説明書をご覧ください。正しく設置されないと誤動作します。

●連結中継モードの入り方

- ① 本製品（以下、子機）の電源を切った状態でランプが青色点灯するまで電源キーとPTTキーを同時に長押しします。
- ② キーを離し「プププ」音が鳴った後10秒以内に、「マ → △ → 電源 → 電源 → 電源」の順番で押すと「連結中継モード チャンネル **」が鳴り連結中継モードに入ります。

メモ

- ・電源キーを押すとチャンネルグループや中継器番号が鳴ります。
- ・通常の通話モードに戻す場合は、リセット（初期化）し工場出荷状態に戻してください。リセットの方法は、先述の「リセット（初期化）」をご覧ください。

●チャンネルグループの変更方法

- 設定値：A～H（初期値：A）
- ① 連結中継モード中に1番スイッチをオンにします
 - ② ▽/△キー操作でチャンネルグループを変更します
 - ③ 1番スイッチをオフにします。

注意 1番スイッチがオンの状態だと本機のスキャン機能が動作しません。連結中継モードで運用中は必ず1番スイッチをオフにしてください。

故障とお考えになる前に

症状	原因	処置
電源が入らない	主電源が入っていない	10番スイッチをオンにしてください
ランプが点かない	バッテリーが消耗している	充電してください
音が出ない	音量が低すぎる	適切な音量にしてください
受信できない	相手とチャンネルが違う	同じチャンネルにしてください
	相手とグループ番号が違う	同じグループ番号にしてください
	相手と距離が離れすぎている	通信距離を目安に送信してください
送信できない	電波を受信している	電波がなくなってから送信してください
	3分通信制限を超過している	PTTキーを放して2秒経過後に送信してください
送信音声は相手に聞こえない	マイクの選択が間違っている	正しい向きにマイクを選択してください
充電できない	充電端子が汚れている	充電端子の汚れを拭き取ってください
	充電池が劣化している	電池交換を依頼してください

※充電池の残りが少ないとまれに誤動作することがあります。充電してください。

生産終了品に対する保守年限

生産終了後も5年間は補修用部品を在庫しています。不測の事態で欠品した場合には保守ができなくなることがありますのでご了承ください。

オプション一覧

EDC-207A	シングル充電器セット	（ACアダプター付属）
EDC-207R	連結充電スタンド	（連結ケーブル付属）
EDC-208R	5連充電スタンド	
EDC-162	連結用ACアダプター	（EDC-208R 5連充電スタンドに必要）
EME-66B	カナル型ツイストコードイヤホン	（ケーブル長：約50cm）
EME-67B(黒色)	耳かけ型ストレートコードイヤホン	（ケーブル長：約50cm）
EME-67W(白色)	耳かけ型ストレートコードイヤホン	（ケーブル長：約50cm）
EME-68B	耳かけ型ツイストコードイヤホン	（ケーブル長：約50cm）

定格

送受信周波数	Lチャンネル	421.8125～421.9125MHz
		422.2000～422.3000MHz
		440.2625～440.3625MHz
	bチャンネル	421.5750～421.7875MHz
		422.0500～422.1750MHz
		440.0250～440.2375MHz
制御チャンネル	422.1875MHz、421.8000MHz、440.2500MHz	
電波形式	F3E（FM）、F1D（FSK）	
送信出力	10mW、1mW	
受信感度	－14dBu（12dB SINAD）	
音声出力	50mW以上（8Ω負荷）	
通信方式	単信、半復信	
定格電圧	DC3.7V（リチウムイオンバッテリー 700mAh）	
消費電流	送信時：約65mA（High） 約55mA（Low） バッテリーセーブ時：約20mA 受信定格出力時：約100mA	
動作温度範囲	－10℃～+50℃（充電：0℃～+40℃）	
寸法 W×H×D	41.6×52.6×17.2mm（突起物除く） アンテナ長：約22mm	
質量	本体（内蔵バッテリーを含む） 44g	
	本体（内蔵バッテリー、クリップを含む） 50g	

- ・仕様、定格は予告なく変更する場合があります。
- ・本書の説明用イラストは実物とは字体や形状が異なったり、一部の表示を省略している場合があります。
- ・本書の内容を無断転載することは禁止されています。
- ・乱丁、落丁はお取替えいたします。